# 第２章　緊急対策工事等について（平成 22 年（2010 年）1 月～平成 23 年（2011 年）8 月・平成 25 年（2013 年）11 月～平成 26 年（2014 年）3 月）

## 1　緊急対策工事（平成 22 年（2010 年）1 月～8 月）

抜本対策の着手までの間、放置できない支障等について、行政代執行により緊急対策を実施した。

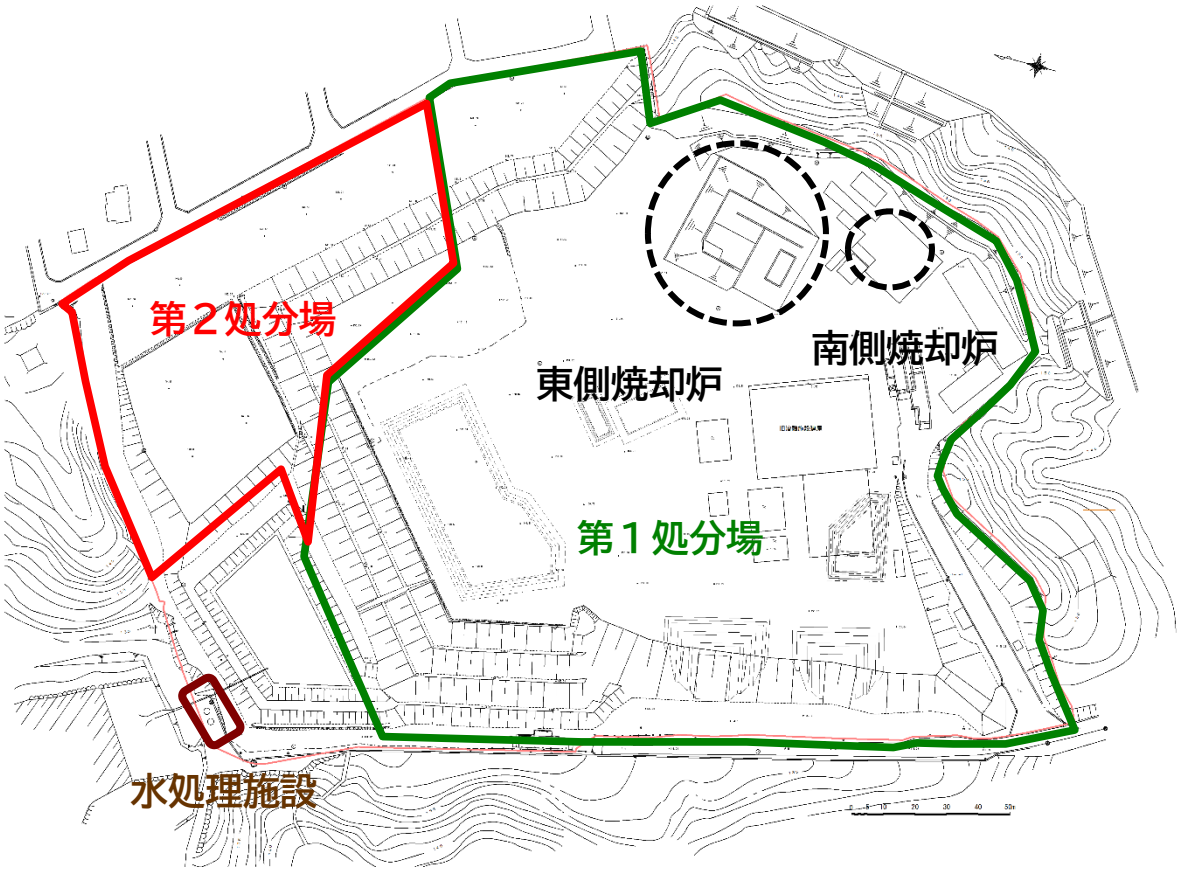



図 2-1-1　旧処分場平面図

### (1) 焼却施設撤去工事

着手日：平成 22 年（2010 年）1 月 28 日

完了日：平成 22 年（2010 年）7 月 23 日

工事費：73,279,500 円

使用が廃止された２基の焼却炉については、設置後 20 年以上が経過して炉の一部が破損したまま放置されており、老朽化等により倒壊のおそれがあった。さらに、倒壊に伴ってダイオキシン類を含む焼却灰等が飛散して健康被害を生じるおそれもあることから、解体撤去工事を実施した。





解体撤去前　　解体撤去後

図 2-1-2　南側焼却炉の解体撤去工事の状況





解体撤去前　　解体撤去後

図 2-1-3　東側焼却炉の解体撤去工事の状況

(2) 水処理施設修繕工事

着手日：平成 22 年（2010 年）2 月 16 日

完了日：平成 22 年（2010 年）6 月 22 日

工事費：18,364,500 円

汚染された浸透水による地下水への汚染拡散の軽減を図るため、浸透水の揚水処理ができるよう４項目の改善命令に基づき平成 16 年（2004 年）に旧ＲＤ社が設置した水処理施設修繕工事を実施した。





修繕前　　修繕後

図 2-1-4　水処理施設修繕工事の状況

（3）その他工事（仮設シート工、室内仮置廃棄物保管対策工）

着手日：平成 22 年（2010 年）2 月 17 日

完了日：平成 22 年（2010 年）8 月 10 日

工事費：15,604,050 円

ア　仮設シート工（施工箇所：西市道側法面部、天端部仮置き廃棄物土）

平成 19 年（2007 年）度の産業廃棄物調査（ブロック掘削調査）の際に設置した、ブルーシートの損傷が著しいため、UV シートで被覆し、廃棄物の飛散・流出の防止を図った。





仮設シート（西市道側法面部）張り替え前　　仮設シート（西市道側法面部）張り替え後

図 2-1-5　仮設シート（西市道側法面部）工の状況

イ　室内仮置廃棄物保管対策工

低濃度 PCB の含有が一部確認されているドラム缶等を、基準に従った方法となるよう保管場所を整備した。その他、仮置き廃棄物については、フレキシブルコンテナバッグ（1t 用）に収納し、適正に室内に保管した。



整備前



整備後

図 2-1-6　室内仮置廃棄物保管対策工の状況

（4）下水道接続工事

着手日：平成 23 年（2011 年）2 月 25 日

完了日：平成 23 年（2011 年）8 月 10 日

工事費：14,150,850 円

水処理施設修繕工事の目的と同様に地下水への汚染拡散の軽減を図るため、浸透水を揚水処理して下水道へ放流できるよう接続工事を実施した。

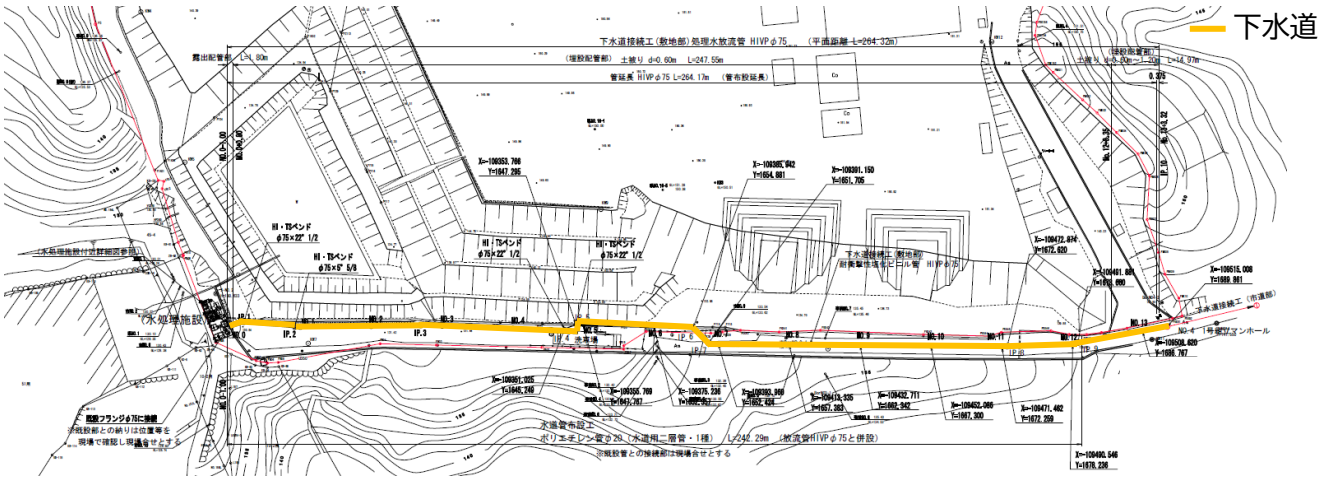



図 2-1-7　下水道への接続管の敷設ルート図

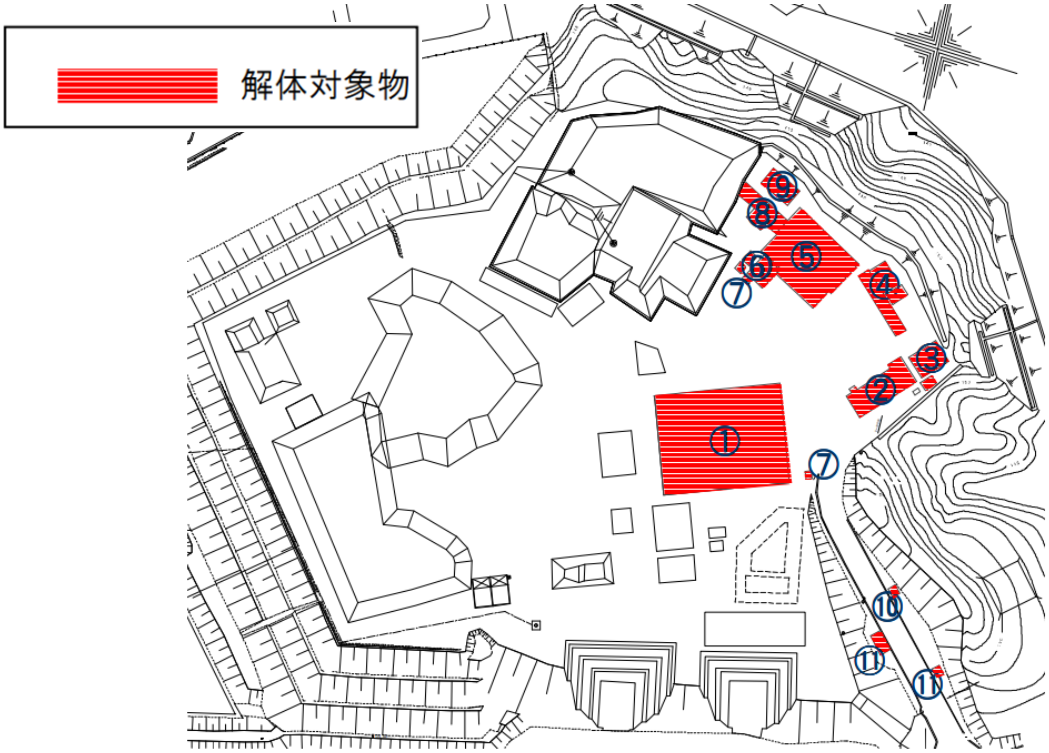
2　建築物他解体工事（平成 25 年（2013 年）11 月～平成 26 年（2014 年）3 月）

着手日：平成 25 年（2013 年）11 月 26 日

完了日：平成 26 年（2014 年）3 月 25 日

工事費：61,425,000 円

二次対策工事の実施にあたり、支障となる既設建物等を解体し撤去する工事を実施した。







① ガス化溶融炉建屋




②～④ 事務所 等




⑤ 南側焼却炉基礎




⑥～⑦ 倉庫 等




⑧～⑨ 焼却炉スロープ 等




⑩～⑪ 小屋 等

図 2-2-1　建物他解体工事の対象物